

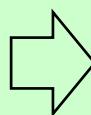
キャベツの大規模生産と地域の需要に応じた多彩な野菜生産 ～イオングループ創造株式会社島根安来農場～

経営体の概要

入植時：平成23年度（島根県安来農場開場）

基幹作物：キャベツ等

経営面積：10.7ha



入植後：令和元年度

基幹作物：キャベツ、ブロッコリー、
スイートコーン、たまねぎ、
いちご、きゅうり、ピーマン

経営面積：20.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

イオングループ創造株式会社は、イオングループ各店舗に農産物の供給を行う経営体であり、平成23年10月に中海地区（昭和63年度に完了した国営干拓事業「中海地区」安来工区（安来市））に入植し、島根県安来農場を開場している。中海地区は、かん水施設・農道などの生産施設が整備されているとともに、集約された農地で大規模経営が可能であるなど、干拓事業ならではのメリットを有効に活用し、入植当初の10.7haから現在20haまで経営規模の拡大を進め、キャベツをはじめとする大規模な野菜生産に取り組んでいる。また、年間を通して農業用水が安定して活用できることから、地域の需要に応じた多彩な野菜を生産し、収益力向上を実現するなど、事業効果を大いに発現している。

営農改善のポイント

①作物の変化

イオングループ全体の需要により、入植当初から土地利用型で大規模生産に適したカット野菜用のキャベツなどを生産している。また、地域のイオングループ各店舗からの需要に応じて、平成28年より丸いタイプのピーマン、地域の特産作物として平成27年よりいちごを施設園芸により栽培し、これらを合わせ多彩な野菜を生産している。



キャベツ栽培ほ場

②栽培技術の確立・向上

露地野菜では、連作障害対策として、同じアブラナ科のキャベツ、ブロッコリーを組み合わせないようとともに後作に緑肥を導入している。



ハウス

③担い手の育成・確保

当社は、独自に就農を検討している学生、一般・社会人を問わず、インターンシップ・農業体験を実施しているが、当農場では、年間4～5人程度の、県内外の大学生を受け入れている。正社員の採用に当たってはインターンシップ経験を要するとしており、農業への適性について応募者に十分理解させた上で採用を決定している。



ピーマン栽培ハウス

事業概要

事業種：国営干拓事業「中海地区」

関係市町：鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、
安来市

受益面積：485ha

事業期間：昭和38～平成25年度

事業目的：干拓

主要工事：貯水池 2箇所、用水路 53.8km、
排水路 2.6km、道路 19.1km

位置図（鳥取県・島根県）



＜局問い合わせ先＞

中国四国農政局

農村振興部農地整備課

電話：086-224-4511

（内線：2562）

（令和元年度調査時点）